

平成23年度全道ホームヘルプサービス研究大会 開催要綱

主催：北海道ホームヘルプサービス協議会 / 後援：北海道（予定）

- 趣 旨** 介護保険制度改正の議論が深まる中、事業所にとっては平成24年4月予定の介護保険制度の改正が重要な岐路となり、昨年度は制度創設以前から地域の高齢者・障害者介護を担い、利用者の自立した生活に資するサービス提供を行っている私たちホームヘルパーの現場の状況を国等に対して訴えるため、提言書を提出し現場の状況の改善を求めてきました。
そこで、本研究大会は、ホームヘルプサービス関係者を対象として、次期法改正に向けた地域包括ケアにおけるホームヘルプサービス事業所の役割、24時間地域巡回型訪問サービスにおける事業所の関わりについて考えるとともに、ホームヘルプサービスに必要な技術と知識の向上を図ることを目的に開催します。
- と き** 平成23年7月11日（月） 13：30～17：00（受付12：30）
平成23年7月12日（火） 9：15～11：50
- と ころ** 北海道第2水産ビル 8階 大会議室他（札幌市中央区北3条西7丁目1 Tel 011-281-2071）
- 参加定員** 300名
※申し込み多数の場合は、ホームヘルプサービス協議会会員を優先させていただきます。
- 参加費** ・北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 3,000円
・上記以外の方 6,000円
※参加費は当日受付でお支払い願います。
- 日 程**

	12:30	13:30	13:45	15:15	15:30	17:00	17:10	18:00
7月11日 (1日目)		受付	開会	講演Ⅰ	休憩	講演Ⅱ	休憩	総会 (会員のみのみ)
	9:15		11:45	11:50				
12日 (2日目)		分科会	閉会					

7. 内 容

〔1日目：7月11日（月）〕

- 開会（13:30～13:45） 開会挨拶
- 講演Ⅰ（13:45～15:15）

「介護保険制度改正と地域包括ケアにおけるホームヘルプサービス事業所の役割について」

介護保険制度改正と地域包括ケアシステムの実現に向けて、ホームヘルプサービス事業所に求められる役割と体制など今後のホームヘルプサービス事業のあり方について学びます。

講師：小山 剛 氏（社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
/24時間地域巡回型訪問サービスのあり方検討会 委員）

- 講演Ⅱ（15:30～17:00）

「24時間地域巡回型訪問サービスのあり方について」

本サービスの最終的な目標である「単身・重度の要介護者であっても、在宅を中心とする住み慣れた地域で、尊厳と個性が尊重された生活を継続することができるような社会環境の整備」に向けて、在宅の要介護高齢者の日常生活を支えるために必要な介護・看護サービスのあり方、ホームヘルプサービス事業所の関わりについて学びます。

講師：小山 剛 氏（社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
/24時間地域巡回型訪問サービスのあり方検討会 委員）

【講師（小山 剛氏）紹介】

1977年東北福祉大学卒業後、知的障害児施設「あけぼの学園」・重症心身障害児施設「長岡療育園」の児童指導員を経て「高齢者総合ケアセンターこぶし園」に主任生活指導員として勤務。現在同センターの総合施設長。

新潟医療福祉大学客員教授、東北福祉大学特任准教授、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会副理事長、日本認知症ケア学会理事、他多くの公職を併任。

著書（共著・監修等）

高齢者ケアはチームで（ミネルヴァ書房）介護保険制度と福祉経営（ミネルヴァ書房）高齢者ケア実践事例集（第一法規出版）高齢者ケアのニューウェーブ（中央法規出版）ケアマネジメントと経営戦略（中央法規出版）暮らしを支える新たな介護（筒井書房）その他多数あり

〔2日目：7月12日（火）〕

（4）分科会（9:15～11:45）

○第1分科会（講義・演習）「ICFの視点～見る自立支援の立案（訪問介護計画につなげる）」

ICFの視点に立ったホームヘルプサービスのための介護計画作成を講義と演習を通して行います。

ICFの視点から、アセスメントを介護計画に反映させることで、効果的な自立支援を行う方法について理解を深めます。

講師：山崎 加代子氏（㈱シムス 取締役 はばたき事業部長）

○第2分科会（講義・討議）「自閉症、発達障がいの理解について」

「発達障がい」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳機能障がいであってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。

本テーマでは、発達障がいの方への正しい理解とよりよい支援のポイントなど、ホームヘルパーとしての関わり方について学びます。

講師：加藤 潔氏（札幌市自閉症・発達障がい支援センター「おがる」所長）

○第3分科会（講義・討議）「医療的ケアのあり方～介護職員によるたんの吸引等の試行事業を通して～」

介護職員等によるたんの吸引等の実施については、昨年7月に制度のあり方に関する検討会が設置され、昨年12月に基本的な考え方と骨子について中間まとめが出されました。

本テーマでは、介護職員等が在宅において、たんの吸引・経管栄養を実施するために必要な研修のあり方や事業所としての体制づくり、他機関との連携など、試行事業の実施を通して、今後の事業実施に向けた取り組み方法、考え方について学びます。

講師：成瀬 裕二氏（合志市社会福祉協議会 事務局長）※全国社会福祉協議会・試行事業実施事業所 戸泉 直美氏（合志市社会福祉協議会 障がい支援課長）

（5）開会（11:45～11:50）各分科会ごとに閉会

8. その他

1日目のプログラムの「講演Ⅱ」終了後、平成23年度北海道ホームヘルプサービス協議会代議員総会を開催します。なお、総会につきましては、別途会員事業所あてに御案内申し上げます。

9. 参加申込みについて

別添＜参加申込書兼アンケート＞に必要事項を御記入の上、**平成23年7月1日（金）【必着】**までに下記あてに、FAXにてお申し込みください。（尚、定員になり次第締め切りとさせていただきます。参加をお断りする場合もしくは希望の分科会を変更して頂く必要がある場合のみ、7月4日（月）までに、お電話等にて御連絡いたしますので、予め御了承ください。）

北海道ホームヘルプサービス協議会 事務局

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター2階

北海道社会福祉協議会・地域福祉部地域福祉課内（担当：前田・片山）

Tel 011-241-3977

Fax 011-271-3956